

日本機械学会基準

部分安全係数法を用いた機械製品の信頼性評価に関する指針

目 次

I.	用語	2
II.	記号	3
1.	指針の目的、適用範囲	4
2.	部分安全係数法	4
2.1	限界状態の数学的記述	5
2.1.1	限界状態の明確化	5
2.1.2	破損モードの抽出	5
2.1.3	限界状態関数の設定	5
2.2	部分安全係数の設定	6
2.2.1	確率特性の表現	6
2.2.2	特性値の設定	6
2.2.3	目標信頼性指標の設定	7
2.2.4	部分安全係数の算出	7
2.3	部分安全係数に基づく信頼性評価	8
2.4	既存の部分安全係数を利用する場合	9
2.4.1	確率分布の確認	9
2.4.2	目標信頼性指標の確認	9
2.4.3	部分安全係数の設定	10